

<平成 25 年度>

下水道部の取り組み実績

下水道整備室
下水道管理課
下水道施設維持課

■ 基本方針 ■

平成 25 年度における、公共下水道の汚水事業については、住居地域での平成 30 年度概成を目指し着実に整備を進めます。

また、雨水事業については、計画的に幹線・水路の整備を推進するとともに溝谷川・新安居川ポンプ場の排水能力向上に取り組みます。

さらに、浸水対策として、浸水被害の頻度が高い地域を優先し、被害の軽減に向けた取り組みを進めます。

実績

- ・平成 25 年 4 月に策定した上下水道ビジョン及び下水道事業経営計画に基づき、公共下水道事業の整備を実施した。
- ・新たな浸水対策として蹉跎排水区で下水道浸水被害軽減総合計画を策定した。

I 重点施策・事業

◆公共下水道汚水整備事業

東部地域を中心に汚水整備事業を展開するとともに未承諾地区や整備困難地区の解消にも取り組み、人口普及率で 94.6%の整備を目指します。

実績

- ・23 件の工事により約 6 kmの污水管整備を実施し、人口普及率で 94.6%を達成した。
- ・国の経済対策による前倒し分として、3 月補正で汚水整備事業の 8 地区に国庫補助交付申請を行った。

◆公共下水道雨水整備事業

下水道認可計画に基づき利根川雨水支線等基幹施設である幹線・水路の整備を推進するとともに溝谷川・新安居川ポンプ場の整備にも取り組み浸水被害の軽減に努めます。

実績

- ・利根川や久保川の雨水支線整備、藤阪元町地区の雨水管整備、養父丘排水路整備などの雨水事業を実施した。
- ・溝谷川ポンプ場の第 1 期工事、新安居川ポンプ場の用地買収を進めた。

◆内水ハザードマップ・下水道浸水被害軽減総合計画作成事業

浸水対策を行う上で基本となる内水ハザードマップの資料作成を行い、内水における浸水に関する情報を市民と共有することにより浸水被害の軽減を推進します。

また、一定の区域において公助・自助協働で取り組む下水道浸水被害軽減総合計画を作成し、ハード・ソフト対策両面にて浸水被害の軽減を図ります。

実績

- ・内水ハザードマップを作成する上での基図となる浸水想定図を策定した。
- ・蹉跎排水区で下水道浸水被害軽減総合計画を策定し、この計画に基づく雨水貯留池の用地買収では、国の経済対策に対応し、国庫補助交付申請を行った。
- ・ソフト対策として、楠葉地区等で土のうステーションを 4 カ所設置した。

◆下水道施設情報管理システム構築事業

老朽化する膨大な下水道施設を適切かつ持続可能な施設として管理するため情報管理システムの構築を図り、限られた財源の中でライフサイクルコストの最小化を踏まえた下水道長寿命化計画作成に活用します。

実績

- ・システム構築に係る委託契約を締結し、平成 26 年度末の完成に向け作業を進めている。

◆下水道施設の適正な維持管理

老朽化する膨大な下水道施設について危険性・緊急性の高い施設を計画的に補修し、適正な機能確保を図ることにより市民生活に大きな影響を与える道路陥没等機能障害を未然に防止します。

実績

- ・管更生事業として、北部地域で約 550m の汚水管改良工事を実施した。
- ・耐震化事業として、中部地区で約 370m の管渠等耐震補強工事を実施した。
- ・南部地域で人孔蓋点検や既設暗渠調査と浚渫事業を行った。
- ・耐震化の継続計画として、下水道総合地震対策計画を策定した。
- ・溝谷川ポンプ場、安居川ポンプ場、蹉跎ポンプ場で初期自動化工事に着手した。

Ⅱ 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
33.技能労務職員等の配置基準の見直し	セーフティネットの確保や業務の効率化等の検証を行う

実績

- ・各ポンプ場等の維持管理及び緊急時対応作業などについて、セーフティネットの観点から検討を進めた。また、補修工事や清掃・除草等の一部委託を拡大していく方向とした。

改革課題	取り組み内容・目標
41.③下水道事業経営健全化	公費負担の在り方検討・積極的な公共下水道接続の働きかけ

実績

- ・経営計画に基づく公費負担検討を行った。
- ・未接続家屋 558 件の実態調査を行い、79 件の水洗化工事を実施した。

改革課題	取り組み内容・目標
46.下水道使用料の改定	平成 25 年 10 月に実施

実績

- ・下水道使用料を約 10%増額改定した。

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
工場等届出規制 指導事業	工場排水（採水を除く）の 水質分析業務の委託
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間への業務委託を実施した。 	

事務事業	取り組み内容・目標
北部別館維持管 理事業	清掃・点検委託料の見直し 検討
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約更新時に見直しを予定している。 	

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
危機管理体制の 充実	訓練実施と部内マニュアル の見直し
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災無線訓練を毎月実施し、2月には部内で大雨対応の訓練を実施するとともに全職員を対象に緊急連絡訓練を行った。 ・ポンプ場等の運転操作の実技研修を行った。 	

テーマ	取り組み内容・目標
発注業務適正化 の向上	チェックシートの改善
<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善したチェックシートで、設計・積算業務を行っており、効果があらわれている。 	

Ⅲ 予算編成・執行

◆浸水被害の軽減を図るため、下水道事業経営計画に基づき、ポンプ場を含めた雨水整備事業費を増額した予算編成としました。

実績

・溝谷川ポンプ場の排水能力アップや雨水幹線等の整備を進めるとともに、新たな浸水対策として、蹠跎排水区で下水道浸水被害軽減総合計画を策定した。

◆上下水道事業会計では、事業運営に際してより透明性が高く、事業の実態をより正確に表現できる、新しい地方公営企業会計基準を平成25年度より早期適用（地方公営企業法の改正によりH26年度から絶対適用）しました。

実績

・新会計基準を適用した財務会計処理を行った。

◆平成25年10月に行う約10%の下水道使用料の増額改定に合わせて、増収分を見込んでいます。

実績

・増額改定による収入を見込みどおり確保することができた。

IV 組織運営・人材育成

- ◆部内において、部の運営方針に基づく組織目標の共有化を図ります。

実績

- ・ 前期、後期における管理者課題ヒアリングや毎月の事務連絡会議等を活用し、施策の進捗管理、部内職員への情報の共有化を図った。

- ◆浸水対策・下水道施設長寿命化計画等の検討を図る上で、部内に横断的なチームを編成し、効率的な組織運営を図ります。

実績

- ・ チーム員による定期的な会議を開催し、課題事項の検討を進めている。

- ◆建設事業の設計や施工管理など、技術的・専門的な業務が多いため、必要な専門研修に積極的に参加し、部内で研修成果を共有化することで、職員のスキルアップを図ります。

実績

- ・ コアパーソン研修制度を活用し、浸水対策や積算業務の専門研修に参加した。
- ・ 下水道協会主催の専門研修にも参加した。
- ・ 研修成果を職員間で共有するための発表会も開催した。

V 広報・情報発信

<経営健全化に向けた取り組み周知>

平成 25 年 4 月から実施する「上下水道ビジョン及び下水道事業経営計画」において、経営健全化に向けた取り組みを広く市民に周知していきます。

実績

- ・ H25 年 5 月号の広報ひらかたで周知を図るとともに、市ホームページや事務局窓口に冊子を配置した。

<料金改定に伴う情報発信>

水道料金・下水道使用料の改定内容について、市民に分かりやすく情報発信します。

実績

- ・ H25 年 5 月号の広報ひらかた及び検針時に内容を説明したチラシを各戸配布した。

<下水道事業の PR>

現在進めている浸水対策など下水道に関する情報を広報ひらかたや FM ひらかたなど地域メディアを活用し、積極的に情報提供します。

実績

- ・ H25 年 6 月号の広報ひらかたで浸水対策の特集記事を掲載し、8 月号では、楠葉地域の浸水対策状況を紹介した。
- ・ H25 年 12 月にケイオプティコム「ここが知りたい枚方市」で下水道の役割を放映した。また、藤本川ポンプ場施設の地元見学会を実施した。
- ・ H26 年 1 月に溝谷川ポンプ場工事（宮之阪地区）と利根川バイパス工事（楠葉地区）の地元見学会を開催した。